

第3期函南町子ども・子育て支援事業計画（案）パブリック・コメント実施結果

実施期間：令和7年1月22日（水）午前8時30分から令和7年2月20日（木）午後5時15分まで

意見提出者及び意見の総数：1人 12件

御意見ありがとうございます。意見内容については、「パブリック・コメントに提出された意見の取扱いについて」に基づいて掲載しています。

意見内容については、原文のまま御提出いただいた順に掲載しています。

件 (No)	意見の 対象部分 (ページ)	意見内容	町の考え方	意見に対する措置
1	7	市町村こども計画 努力義務ですが、理解できるが、周辺市町では、こども計画を策定してきている。沼津市、伊豆市が意見募集している。函南町は、努力義務の計画は策定しなくて良いと、考えているかもしれないが努力義務は努力しないといけない。社会的ニーズ、環境変化、様々な観点から、こども計画は必要だと考える。次回計画改定時には、こども計画を検討してほしい。	本計画（案）に対する御意見ではございませんので、回答を控えさせていただきます。	変更なし
2	14, 16, 25 33, 71, 74	空白のスペースが多いページに、図、写真、コラムなど工夫してほしい。	ご指摘のページをはじめ、最終的な公表に向けた計画書のとりまとめにおいて、調整していきます。	変更なし
3	38	(4) 子どもの居場所づくりの推進 こどもの居場所づくりは、国、静岡県、函南町は、統一したと思う。ひらがな こどもに修正を。函南町ホームページは、こどもの居場所に、なっている。	ご指摘のとおり「こども」表記について、国が示した表記方法を準用いたします。	該当箇所を修正
4	30 ページ	(1) 保育サービスの充実 上から2つめ。自由ヶ丘幼稚園を認定こども園へと記入されているが、今まで1年間 説明では、幼保連携型認定こども園化としてきた。ここに認定こども園と記入すると、幼保連携型ではない？との憶測が広がるおそれがあるため、幼保連携型認定こども園と修正したほうがよい。調べたところ、認定こども園は、大きく分けて4タイプあり、現在、二葉こども園が函南町にはある。二葉こども園は、幼稚園型こども園とのこと。自由ヶ丘幼稚園を認定こども園へ、これは、どのタイプかを記載することは、重要な意味がある。	ご指摘のとおり「こども園の類型」について、追記いたします。	該当箇所を修正

件 (No)	意見の 対象部分 (ページ)	意見内容	町の考え方	意見に対する措置
5	30 ページ	<p>留守家庭児童保育所の拡充 検討との記載を削除または変更してほしい空き教室等の活用検討だが、留守家庭児童保育所の拡充とあり、拡充を検討と勘違いされるおそれがある。現状、定員オーバーがあるとの情報があるので、拡充を検討するイメージではなく、拡充するとのイメージにしてほしい。</p>	<p>表現等については留意して作成した結果となっています。御意見として賜ります。</p>	<p>変更なし</p>
6	53 ページ	<p>子どもの数の推計 0歳の推計値が実態とズレているのでは？ 令和6年実績が165、5年後は143 少子化のスピードが早いのに5年後、この数値ならば少子化の深刻さは感じない。一方、令和6年実績を縦にみていくと、0歳165、1歳187、2歳200、3歳223、4歳246となっている。これは、毎年20人程度子どもの出生数が減っているとも読み取れる。実際は、転入と転出の影響も考慮されるが、函南町の待機児童問題 解消要因の1つが少子化となれば、この縦の実績は重要視しなければならない。令和7年から少子化の深刻さが改善するデータは、ない。となると、子どもの出生数 もっと深刻な数値になるはず。0歳は数年で130人を割るのが正しい推計となると思う。出生数減少スピードが、ここで鈍化する根拠はないこの推計値を誤ると施設の統廃合、施設民間事業者の採算性、施設定員と利用率などに影響する。函南町より少し規模の小さい市町の1年間の出生数推計が80人って市町も。</p>	<p>今回の推計値については令和5年から令和6年の0歳児人口の実績値の変化率より算出しております。</p>	<p>変更なし</p>

件 (No)	意見の 対象部分 (ページ)	意見内容	町の考え方	意見に対する措置
7	全ページ	<p>⑦こどもの表記について こども、子どもなど、わかりにくい。表記の函南町としての考え方を記入すべき。なお、近隣市町の計画は、国の指針を重視し、こども表記を基本にしていて、特別な事情のみ、子ども表記などになっている。函南町も国の指針を考慮しているが、子ども表記の割合が函南町のみ多い。子ども子育て支援法に関する記述と現在ある組織、名称、政策名だけ、子ども表記を認め、他は全てこども表記にする自治体が多い。函南町も再考してほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり「こども」表記について、国が示した表記方法を準用いたします。</p>	<p>該当箇所を修正</p>
8	49	<p>こども医療助成 説明文が子ども表記になっているが、こども医療助成とひらがなの後に説明文が子どもは違和感あり。こどもに修正すべき。函南町ホームページは、こども表記。(ページ ID 976)</p> <p>やはり、こどもと子ども表記がバラバラ感あり。再度、全て見直してほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり「こども」表記について、国が示した表記方法を準用いたします。</p>	<p>該当箇所を修正</p>
9	73	<p>乳児等通園支援制度 これは、6ページにて こども誰でも通園制度と記入されている。この73ページにも こども誰でも通園制度の() 記入が必要。仮に国の政策で、表記に?がつくならば、6ページの修正が必要。どちらかに統一すべき。</p>	<p>ご指摘のとおり統一した表記をいたします。</p>	<p>該当箇所を修正</p>
10	30	<p>自由ヶ丘幼稚園 認定こども園化について これは、保護者の就労要件変更による保育需要増大により、大量の待機児童が発生するおそれから、幼保連携型こども園化の実現し、待機児童対策として動きだしていた。一方、少子化のスピードが想定より進行し、令和7年4月に待機児童発生懸念は、消えてきたとの情報がある。そうなると、自由ヶ丘幼稚園の認定こども園化は、待機児童対策から切り替えたのか？ 何を目的にするのか？記述を追加すべき。</p>	<p>表現等については留意して作成した結果となっています。御意見として賜ります。</p>	<p>変更なし</p>

件 (No)	意見の 対象部分 (ページ)	意見内容	町の考え方	意見に対する措置
11	59	留守家庭児童保育所 近隣市町は学校ごとに計算している。函南町も学校ごとに計算しないと実態と合わない、全体の確保は、されていても学校ごとに計算すれば、実態が把握できる。定員オーバーしていても、定員に余裕ある場所があれば、全体的には確保策しっかりしていることになるが、実際は、定員オーバーしていれば、確保策必要となる。	ご指摘のとおり「校区別利用見込みと確保方策」を追記します。	利用見込みと確保方策を追記
12	全体	⑫SDGs の記述がない。1年前の函南町実施、各種計画策定パブリックコメントでは SDGs の記載意見が多数採用され、記述が追加された。今回、子ども子育て支援に関する分野の計画、SDGs では、貧困をなくそうなど多数の分野が該当する。世界的にも注目されている、また近隣市町は、図やコラムなどとセットで記述している、函南町も SDGs の記述は、必要。	ご指摘のとおり「SDGs との関係」を追記します。	SDGs との関係を追記

他課に関する意見につきましては、担当課へ情報提供します。